



- 学校教育目標 : 地域を愛し、地域からも愛される児童の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校 (美しい環境&美しい心と姿の育成)
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気! (自ら学ぶ子 心豊かな子 がんばる子)

<子ども達の「やりたい。」「挑戦してみたい。」という思いを大切にしていきたい。>

本校のあるクラスの「学年だより」に先生の思いが書いてありましたので紹介します。

夏休み前から子どもたちには伝えていた、1学期に習った漢字の復習テストを行いました。夏休みの間に、何度も繰り返し練習をしている子がたくさんおり、自主学習や配布したプリントを何枚も印刷して提出してくれた子もいました。その頑張りもあり、10人程度が90点以上を取ることが出来ました。送り仮名が違っていた子は、とても悔しがっていました。そうすると、子どもたちから「再テストはありますか?」「もう1回テストしたいです。」という声が聞こえました。その言葉を聞いて、私はすごく嬉しかったです。子どもたちの声に応じて、希望者のお昼休みに再テストを行いました。

コツコツ努力することで良い結果が出るという経験をし、子どもたちも自信がついたのではないかなと思います。今回のみならず、いろいろな場面で積極的に活動してほしいなと思います。

私も子どもたちの「やりたい。」「挑戦してみたい。」という思いを大事にしていきたいと思います。

漢字の再テストに真剣に取り組む子どもたちの姿が目に見えてきます。自分から「やってみたい」「挑戦したい」という、やる気スイッチが入ったとき、子どもたちの取り組む姿勢が変わってきます。どうやったらやる気スイッチが入るのか試行錯誤の毎日ですが、子どもたちの思いを大切にしたい教育の推進をめざしていきます。



<校内研修を行いました。>

10日(水)に4年生の社会科「自然災害からくらしを守る」の授業を教職員で参観し、授業研修会を行いました。災害が起きて、学校の講堂が避難所になり、自分たちが避難所運営員になった場合どのような避難所を開設するか、考え発表する授業でした。各グループに学校運営協議会委員の方や地域の方に入っていました。また、市の危機管理課の方にも来ていただき、児童へのアドバイス等もしていただきました。研修のため学校教育課の指導主事の先生、山口大学教職大学院の学生2名、灘小学校・灘中学校の先生も授業を参観していただきました。大勢の方の前で自分の考えを発表する経験が少ないせいか、児童は普段の授業より緊張した様子でした。授業後は、先生達で授業についての協議会を行いました。危機管理課の方と学校運営委員の方2名も協議会の様子を見ていただきました。児童にとって大切な授業をよりよくするために、今後も研修にも取り組んで行きたいと思います。※今年度から2年間、灘中学校区の3校は「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」の指定を受け研修に取り組んでいます。



【グループごとに発表。】